

【学校教育目標】 助け合う子 考える子 きたえる子

【学校経営方針】 未来を生き抜き、未来を創る「たくましく」「しなやかな」共成っ子の育成
「学びがい」「やさしさ」「元気」を感じ「自分らしさ」を發揮できる学校

育てたい資質・能力

- ① 生きて働く知識・技能を習得・活用する力
- ② 思考力・判断力・表現力
- ③ 主体性・自己調整力・課題解決力
- ④ 協働力
- ⑤ 創造力

多様な課題

児童の環境と現状

- ① 学習に前向きな児童が多い
- ② ICT を効果的に活用している
- ③ 児童の学力差が大きい
- ④ 発展的学習が苦手な児童が多い
- ⑤ 既習事項を活用する力が弱い

授業改善

目指す主体的な学び

◆学ぶことへの興味・関心、学習の見通しと振り返りの中で、よさや可能性への気付き

個別最適な学び
協働的な学び
の実現

本校における学力向上とは

- ・学習に主体的に取り組み、粘り強く課題を解決することができる
- ・自分の思いや考えをもち、それを共有することができる
- ・既習事項を活用し、新しい課題に取り組むことができる

目指す対話的な学び

◆児童同士の協働・教職員や地域の人との対話や交流の中で気付き・思い・考えの共有

目指す深い学び

◆各教科等の特質に応じた思考・判断・表現
◆関係性やつながり、系統性などへの気付き・納得

授業改善の視点

指導内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	「学びに向かう力」を育むための工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」「見通し」「振り返り」のある授業 ・基礎基本の確実な習得 ・ICT機器の効果的活用 ・言語活動充実 ・価値ある体験活動 ・対話の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画の工夫(帯活動など) ・読書活動推進 ・朝の時間の有効活用 ・中学ブロック統一の授業スタンダード ・体験学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・『児童が主役の学びを創る』授業作りへの挑戦」をテーマにした研究の充実 ・教員同士の積極的な授業公開・学び合い ・計画的な研修日の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導と評価の一体化 ・授業内での評価の工夫、授業後の振り返りの充実 ・児童・教員の自己評価及び外部評価の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ボランティアなど地域の教育力の積極的活用 ・地域の施設や人々との交流や体験活動を積極的活用 ・全校統一での毎学期の家庭学習習慣 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を見通した授業づくり ・興味・関心を高める導入 ・自己選択・自己決定の場の設定 ・学習内容・方法・時間を児童自ら調整する場の設定